

★★★

29 アオイトトンボ

約 40 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.9.10 T

メタリックグリーンの体。成熟したオスは胸としっぽの先が1節、粉をふいて青くなる。複眼の水色が美しい。アオイトトンボの仲間は、羽を開いた状態で止まることが多い。メスは薄い緑色のままのものと、オスのように青い粉をふくものがある。

よく似た種 30 オオアオイトトンボ



▲葉の表と裏で産卵するペア 2005.9.17 T

水辺の草に産卵する。同じ場所に集まってくることが多い。

★★

30 オオアオイトトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2004.8.12 T

背面や腹はメタリックグリーンで、胸の下側は黄緑色。羽を開いて止まる。アオイトトンボとの違いは、粉をふかないこと、複眼は緑がかった色であること。体長もやや大きめ。

よく似た種 29 アオイトトンボ



▲連結したペア 2001.10.23 T

水面に張り出した木の枝(樹皮)に夕方から深夜にかけて産卵する。集団で産卵場所にやってくる人が多いようだ。



▲羽化直後のメス 2005.7.6 G

長池公園で観察された その他のトンボ

ホソミオツネントンボ



成虫で越冬する。越冬前はオツネントンボに似た茶色だが春には青くなる。(2004.4.29 T)

カワトンボ



本来は木陰のある川の上流域に生息する。写真はメス。オスには橙色の羽のものもいる。(2005.5.15 G)

ヤマサナエ



体長約 70mm の大型のサナエントンボ。胸の側面に黒い筋が 2 本あり、しっぽの先端付近が黄色い。(2002.5.25 T)

サラサヤンマ



木立に囲まれた湿地に生息する小型のヤンマ。公園内のハンノキ林に生息している。(2005.6.18 U)

ハグロトンボ



羽が黒く、オスは胸や腹がメタリックグリーンに輝く。メスの体は黒っぽい。(2005.7.11 G)

コフキトンボ



シオカラトンボを小さくした感じのトンボ。オスは腹に青白い粉を吹くが胸は黄色いまま。(2001.7.1 T)

ヒメアカネ



マユタテアカネに似ているがオスに眉はない。肩の黄色いラインが「i」の字に見える。(2000.8.8 T)

マルタンヤンマ



写真はメス。成熟したオスは青色と褐色の縞模様。朝夕の薄暗い時間帯に空を飛び回る。(2000.8.2 T)

ヤブヤンマ



朝夕の薄暗い時間に活動する。ストロボ撮影すると青い複眼や斑紋が美しい。写真はオス。(2004.8.4 T)

マイコアカネ



マユタテアカネに似ているがオスに眉はない。成熟したオスは額が青くなる。(2002.9.25 T)

ここに挙げた種は、長池公園での観察記録がごく少数のものです。個体数そのものが少ない、見つけにくい（暗くなってから活動するヤンマなど）、たまたま飛来しただけで定着しているわけではない、といった理由が考えられます。今後見つかるかもしれない種としては、次のようなものが挙げられます。

モノサシトンボ、セスジイトトンボ、カトリヤンマ、ウチワヤンマ、ミルンヤンマ、コシボソヤンマ、コヤマトンボ、タカネトンボ など